

古文 品詞分解（動詞・助動詞）「宇治拾遺物語 ～伴大納言の事～」問題

これも今は昔、伴大納言善男は佐渡の国の郡司が従者アなり。かの国にて善男、夢に①見るや

う、西大寺と東大寺とを②跨げて③立ちイたりと④見て、妻の女にこの由を⑤語る。妻の曰く、

「そこの股こそ、⑥裂カウエんずオらめ」と⑦合はするに、善男⑧驚きて、「よしなき事を⑨語り
カテキけるかな」と⑩恐れ⑪思ひて、主の郡司が家へ⑫行き向ふところに、郡司、極めたる相人
クなりケけるが、日ごろはさも⑬せコぬに、殊の外に⑭饗応して円座⑮取り出で、⑯向かひて⑰召し
⑯のぼせサければ、善男あやしみを⑯なして、「我を⑯すかし⑯のぼせて、妻の⑯いひシつる

スやうに股など⑯裂かせんずるやらソん」と⑯恐れ⑯思ふ程に、郡司が曰く、「汝、やんごとなき

高相の夢⑯見タてけり。それに、よしなき人に⑯語りツテけり。必ず大位には⑯至るとも、

こと⑯出で来て罪を⑯かぶらんぞ」と⑯言ふ。

⑯しかる間、善男、縁につきて京⑯上りして、大納言に⑯至る。されども、猶罪を⑯かうぶる。

郡司が言葉に⑯違はナズ。

古文 品詞分解（動詞・助動詞）「宇治拾遺物語「伴大納言の事」」解答

断定

マ上一
体

これも今は昔、伴大納言善男は佐渡の国の郡司が従者アなり。かの国にて善男、夢に①見るや

ガ下二用 夕四用 存続 マ上一用

ラ四終

う、西大寺と東大寺とを②跨げて③立ちイたりと④見て、妻の女にこの由を⑤語る。妻の曰く、

力四用 受身 推量 現在推量

サ下二用

ラ四用

「そこの股こそ、⑥裂かウれエんずオらめ」と⑦合はするに、善男⑧驚きて、「よしなき事を⑨語り

強意 過去 ラ下二用ハ四用

ラ四用

カテキけるかな」と⑩恐れ⑪思ひて、主の郡司が家へ⑫行き向ふところに、郡司、極めたる相人

断定 過去 サ下二用

ハ四用

クなりケけるが、日ごろはさも⑬せコぬに、殊の外に⑭饗応して円座⑮取り出で、⑯向かひて⑰召し

サ变用 打消

サ变用

サ四用

のぼせザければ、善男あやしみを⑯なして、「我を⑳すかし㉑のぼせて、妻の㉒いひシつる

スやうに股など㉓裂かせんずるやらソん」と㉔恐れ㉕思ふ程に、郡司が曰く、「汝、やんごとなき

マ上一用 強意 過去 ラ下二用ハ四用

ラ四用

高相の夢㉖見タてチケり。それに、よしなき人に㉗語りツテテケり。必ず大位には㉙至るとも、

カ変用 ラ四用 推量 ハ四終

ラ四用

こと㉙出で来て罪を㉚かぶらトんぞ」と㉛言ふ。

カ四用 サ变用 ラ四用

ラ四終

しかる間、善男、縁につきて京㉔上りして、大納言に㉕至る。されども、猶罪を㉖かうぶる。

郡司が言葉に㉗違はナズ。

ハ四用 打消